



# 同一所属部署に閲覧させたくない メンバーがいる場合の権限設定方法

① 拡張アクセス設定を使用して、指定メンバーを追加/除外し閲覧権限を設定する

② 所属を新たに追加し、権限設定を行う（拡張アクセスを使用しない）

概要

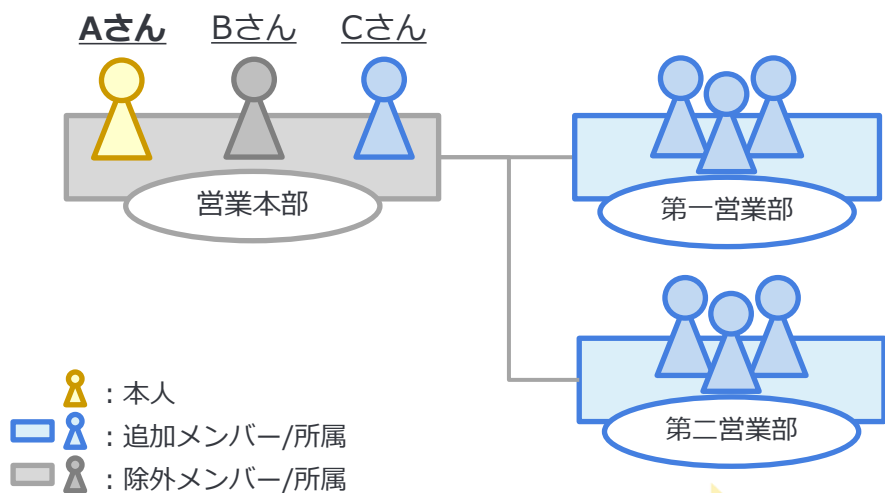
・ 拡張アクセス設定で特定メンバー情報の閲覧権限を追加または除外することで閲覧範囲を設定する

▶ ケース例：営業本部の副部長Aさんに部長Bさんの情報を閲覧させたくないが、部長Bさん以外の情報と、配下グループのメンバー情報を閲覧させたい場合

以下いずれかの方法で指定メンバーを追加/除外することで閲覧範囲を指定することができます。

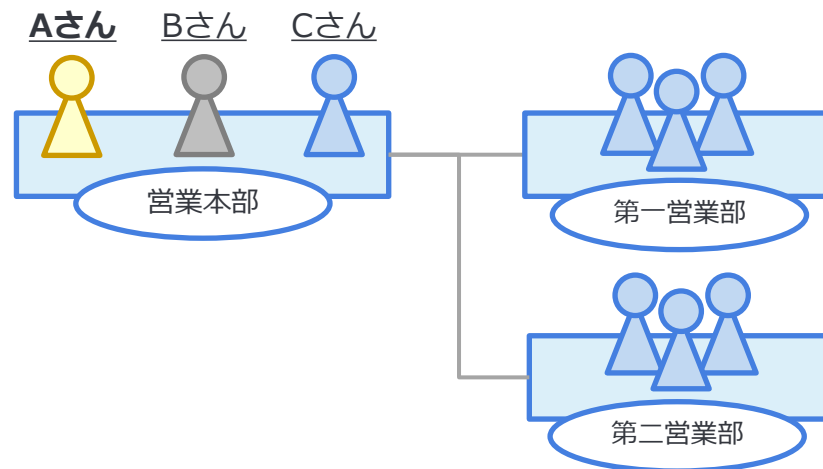
【A】 閲覧権限を配下社員に設定し、  
追加メンバーを設定する

・ 設定イメージ



【B】 閲覧権限を所属社員に設定し、  
除外メンバーを設定する

・ 設定イメージ



➤ 各方法のメリット/デメリット、ご注意事項

	【A】 閲覧権限を配下社員に設定し、 追加メンバーを設定する	【B】 閲覧権限を所属社員に設定し、 除外メンバーを設定する
メリット	所属部署の閲覧させたいメンバーを後から追加するため、誤って所属部署すべてのメンバー情報が閲覧されるリスクが低減できる	除外するメンバー数によっては、追加メンバー設定よりも設定の工数が少ない (管理者側の設定工数削減)
デメリット	所属部署の人数が多い場合、追加メンバーの設定に時間がかかる	所属部署の閲覧を許可しているため、除外設定を忘れた/誤って解除した場合、該当者の情報が閲覧できてしまう (見せてはいけない情報が閲覧できてしまう)
注意事項	異動や昇格があった場合、基本情報を更新することで自動的に所属や配下等の参照範囲は変更になりますが、拡張アクセス設定で設定した内容は自動変更されないため、都度メンテナンスが必要	
設定手順	次ページ以降にご案内します	



Point!

- どちらの方法で設定するか迷われた場合、管理者のメンテナンス工数削減のため、「**拡張アクセス設定のメンテナンス負担が少ない方（追加/除外メンバーの数が少ない方）**」を選択いただくケースもございます。
- 役職や雇用形態などの条件を指定して対象を絞り込み、拡張アクセス設定を一括で更新できる「**拡張アクセス設定の一括設定**」の機能もございます。[設定方法はサポートサイト](#)をご確認ください。

➤ 設定手順：【A】 閲覧権限を配下社員に設定し、追加メンバーを設定する場合

- ① アクセス管理より該当ロールの閲覧権限を「配下社員」に設定し、追加設定の「追加メンバー」を「有効」に設定  
(管理者メニュー>アクセス管理より設定)



- ② 拡張アクセス設定の「追加メンバー」よりユーザ毎に追加メンバーを設定  
(管理者メニュー>拡張アクセス設定>追加メンバー>設定を追加するより設定)

※キャプチャ画像は「小野さん」に対して「青木さん、伊藤さん」の情報を閲覧可能とする設定



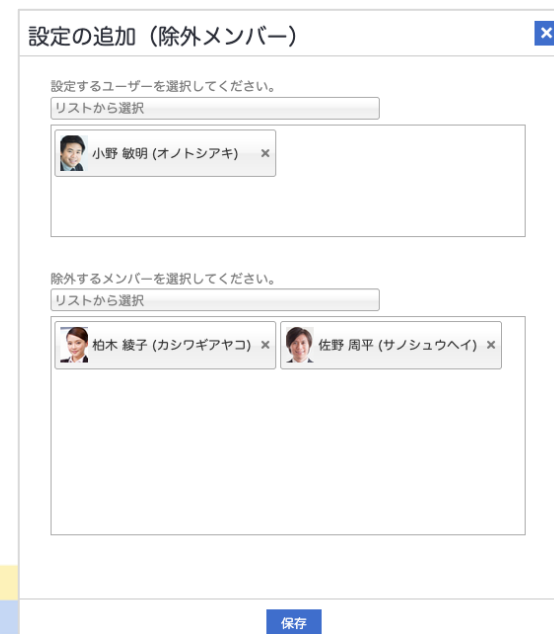
➤ 設定手順：【B】閲覧権限を所属社員に設定し、除外メンバーを設定する場合

① アクセス管理より該当ロールの閲覧権限を「所属社員（配下含む）」に設定し、除外設定の「除外メンバー」を「有効」に設定  
 (管理者メニュー>アクセス管理より設定)



② 拡張アクセス設定の「除外メンバー」よりユーザ毎に除外メンバーを設定  
 (管理者メニュー>拡張アクセス設定>除外メンバー>設定を追加するより設定)

※キャプチャ画像は「小野さん」に対して「柏木さん、佐野さん」の情報を閲覧不可とする設定

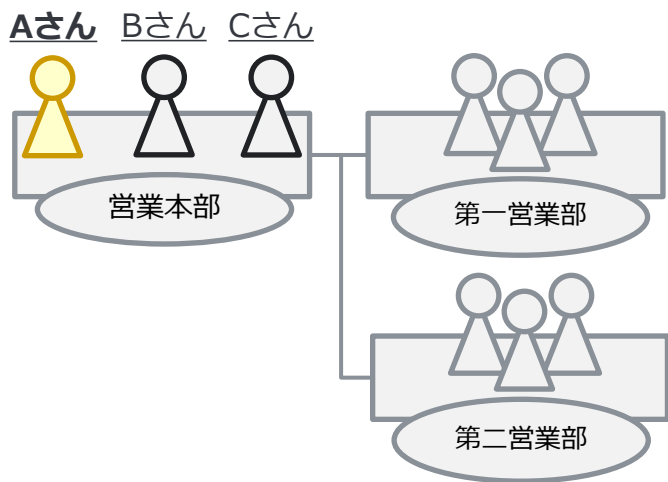


②所属を新たに追加し、権限設定を行う（拡張アクセス設定を使用しない）

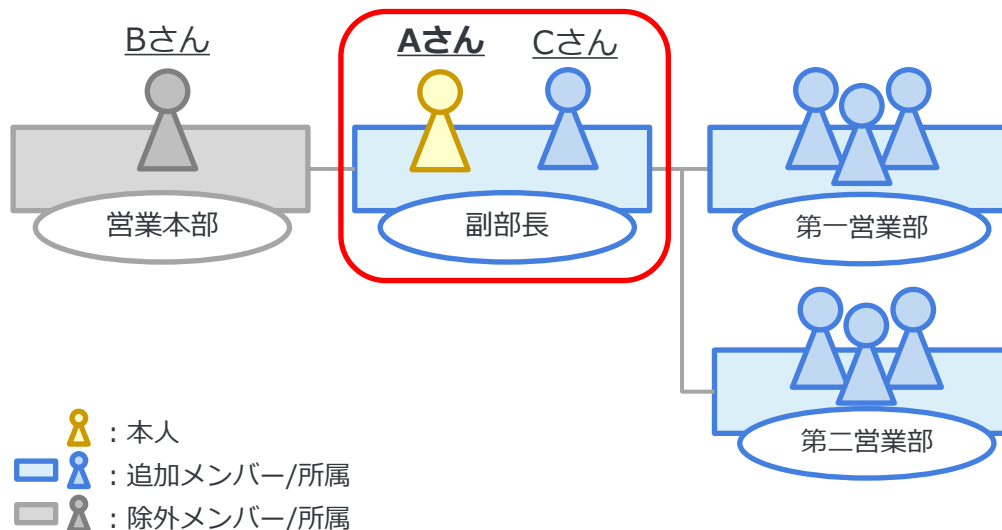
- 👉 **概要**
  - ・所属を新たに追加することで、拡張アクセス設定を使用せずに最もシンプルな形で権限設定をする
- 👉 **メリット**
  - ・拡張アクセス設定を使用しないため、異動/昇格時等の都度のメンテナンスが不要
  - ・簡単に権限設定ができる
- 👉 **デメリット**
  - ・シナプスツリーで組織図を見る際に、本来の組織図ではない配置/見え方となる

➤ ケース例：  
営業本部の副部長Aさんに、部長Bさんの情報は閲覧させたくないがCさんの情報と配下グループのメンバー情報を閲覧させたい場合

・所属追加前の組織図



・所属追加後の設定イメージ



➤ 設定手順

①所属ツリー管理より新たに所属を追加  
（管理者メニュー>所属ツリー管理より設定）

②アクセス管理より該当ロールの閲覧権限を「所属社員（配下含む）」に設定  
（管理者メニュー>アクセス管理より設定）



※新たに追加した所属内に情報を閲覧させたくないメンバーがいる場合には、該当ロールの閲覧権限を「配下社員」に設定し、本人設定の「本人の追加」に設定することで、本人と配下グループの情報のみを閲覧させることができます。



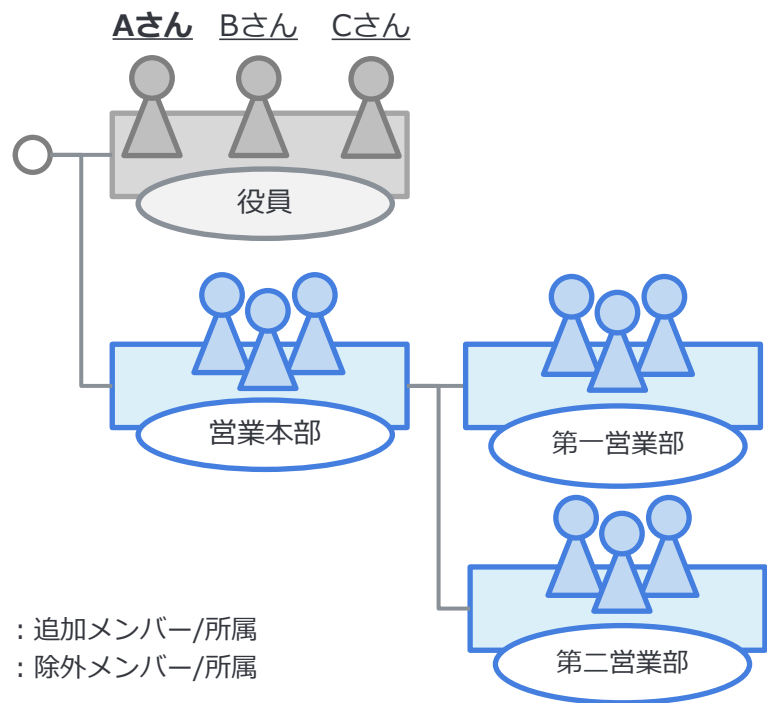
概要

- ・ 拡張アクセス設定で指定所属の閲覧を除外（閲覧不可）し、同一所属内に複数メンバーがいた場合でも他メンバーの情報を見せたくない

ケース例：

役員Aさんに、全社員の社員情報を閲覧させたいが、役員Bさん/Cさんの情報は見せたくない場合（役員同士は互いの情報を閲覧させない）

設定イメージ



- : 追加メンバー/所属
- : 除外メンバー/所属

注意事項：

- ・ 本人も本人情報が閲覧できません。（AさんはAさん自身の情報が見えない）
- ・ 「役員」配下に別所属は紐づけしないでください。（紐づけた場合、配下の所属情報は閲覧できません）

＞ 設定手順

- ① アクセス管理より該当ロールの閲覧権限を「全社員」に設定し、拡張アクセスの適用の『除外所属』を『有効』に設定  
(管理者メニュー>アクセス管理より設定)



- ② 拡張アクセス設定の「除外所属」よりユーザ毎に除外所属を設定  
(管理者メニュー>拡張アクセス設定>除外所属>設定を追加するより設定)

※キャプチャ画像は「小野さん」に対して所属「役員」に含まれるメンバー情報の閲覧を不可とする設定

